

令和3年 第3回定例市議会

教 育 行 政 報 告

恵庭市教育委員会



第3回定例会が開催されるに当たりまして、第2回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う市内小中学校の学校行事について

はじめに、新型コロナウイルス感染拡大に伴う市内小中学校の学校行事について申し上げます。

運動会や体育祭、修学旅行や宿泊学習などの学校行事について、本年度は児童生徒や保護者の接触や密集などに配慮し、実施内容を工夫しながら、感染防止対策を講じた上で実施してきました。

しかし、8月14日から31日までの期間において、北海道のまん延防止等重点措置区域に恵庭市が指定され、その後、9月12日まで期間延長、さらに8月27日からは緊急事態宣言による特定措置区域に指定されたことを受け、感染拡大防止を図るため、学校行事を中止、延期、縮小するよう、北海道教育委員会から通知がありました。

これに伴い、小学校4校で8月に実施を予定していた修学旅行や宿泊学習を延期することとし、その他の学校行事についても、延期や分散、縮小、時短を検討するなどの対応を行っております。

引き続き感染状況を注視しながら、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づき感染症対策を徹底するとともに、子どもたちの健康を守りながら教育活動を進めて参ります。

I C T等の教育環境整備について

次に、I C T等の教育環境整備について申し上げます。

国の「G I G A（ギガ）スクール構想」に基づき、I C T教育環境の整備を進めているところでありますが、本年度、全小中学校で校内L A N工事やネットワーク機器の設置を実施いたしました。

8月末で全小中学校の整備が完了し、準備が整った学校から順次、児童生徒用パソコン端末を授業で活用しております。

今後、全小中学校において、児童生徒用パソコン端末を効果的に活用

学校訪問について

できるよう進めて参ります。

次に、学校訪問について申し上げます。

4月の校長・教頭合同会議において、本年度の教育行政執行の基本方針を示したところでありますが、7月6日から19日までの期間に、教育委員と教育委員会事務局とで全ての小中学校を訪問し、学校教育基本方針に基づいた各校の取組について確認を行うなど、学校経営における課題を共有したところであります。

今後も各学校と連携しながら、教育の充実に努めて参ります。

「少年の主張」について

次に、「少年の主張」について申し上げます。

毎年、市内の中学校を会場に実施しております恵庭市「少年の主張」中学校大会であります。本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各校代表生徒の作文をビデオ動画にて審査を行い、最優秀賞及び優秀賞を決定いたしました。表彰は7月12日から16日にかけて各校の校長室において表彰状を贈呈したところであります。

なお、最優秀賞を受賞した恵明中学校3年・楠田理子（くすだ りこ）さんの作文「ヘイトクライムと差別」は、その後7月15日に行われた石狩大会において最優秀賞に選ばれました。このため楠田さんの作文は、さらに9月2日に札幌市にて行われた北海道大会において、奨励賞を受賞いたしました。

また、中学校大会における各校の受賞作文は、秋の青少年育成強調月間パンフレットに全文を掲載し、11月中に市内の小中高校や青少年関係団体の元へお届けして参ります。

学校図書館活動について

次に、学校図書館活動について申し上げます。

8月5日に、司書教諭及び学校司書合同研修会を実施し、児童生徒の

学びをサポートするため、電子図書館やICTを活用して調べる学習を促進する手法について学ぶ機会といたしました。

読書活動の推進について

次に、読書活動の推進について申し上げます。

7月24日に図書館本館にて、恵庭市小中学生調べる学習コンクールのための講習会を実施し、児童生徒の自ら学ぶ意欲を高める機会といたしました。

また、8月2日から8日まで、恵庭市立図書館恵庭分館にて、無人化実証実験を実施いたしました。通常は閉館している時間を開館し、115名の市民の方にご参加いただき、図書館サービスの充実のため利用者アンケートにもご協力をいただきました。

いずれの事業も、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて実施したところであります。

郷土資料館事業について

次に、郷土資料館事業について申し上げます。

郷土資料館では、7月24日から8月22日まで企画展「漁川と人々の暮らし」を、8月1日から8月26日まで「戦争資料展」を、さらには、8月21日に「まが玉づくり」や北海道文教大学のご協力による「ベングラ染め」などの作業体験を主体とした「第8回カリンバまつり ～君も縄文人になろう！」を開催し、多くの皆さんに参加いただきました。

また、アイヌ文化を保存・継承・振興するとともに、アイヌ民族の歴史や文化に対する理解を深めていただく事業として、恵庭市内の中学生4名の参加によるアイヌ文化マスター育成事業の全8回の内、7月4日、8月1日の2回を開催いたしました。また、7月31日に開催した「アイヌ文化学習見学会」では、23名の市民の方々の参加をいただき、「だて歴史文化ミュージアム」や「国立アイヌ民族博物館」を見学していただきました。

いずれの事業も、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて実施した  
ところであります。

今後も、引き続き、各種啓発・普及事業を推進して参ります。

以上、第2回定例会以降における教育行政執行の主なものについて、その概要を報告いたしました。

今後とも、恵庭市の教育水準向上のため一層の努力を重ねて参る所存でありますので、議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げ、教育行政報告といたします。